

近年の社会動向等を踏まえたまちづくりの重点項目に加えて、区民参画による区民の意見を反映した改定を行っていきます。また、多くの人に理解してもらえる工夫をしていきます。

1 大田区を取り巻く状況

社会的な動き

- ①東日本大震災や近年の風水害などによる、防災意識の高まり
- ②羽田空港の機能強化、訪日外国人数の増加など国際化の進展
- ③産業構造の変化（重厚長大型から高付加価値型へ）と大規模工場の用途転換
- ④高齢者や外国人の人口増加や単身世帯の増加など、多様化するライフスタイル
- ⑤パリ協定の採択やSDGsの提唱など、温暖化抑制を目指した大きな動き
- ⑥デジタル経済をベースとした急速な技術革新

策定・改定

国の計画等
国家戦略特区 等

都の計画等
都市づくりのグランドデザイン 等

区の計画等
おおた未来プラン10年(後期) 等

キーワード

エリアマネジメント、都市復興・BCP、リノベーション推進、持続可能な都市（SDGs、スマートシティ）、新産業・新ビジネスの創出（サテライトオフィス等の誘導、イノベーション拠点の創出、産業クラスター形成）、ライフスタイルの多様化・ダイバーシティ、国際都市・観光都市（インバウンドの推進、MICE施設の立地誘導） など

2 課題の抽出

2-1 大田区の現状（参考資料データ集参照）

○人口動態

- ・区の人口は増加基調にあるが、少子高齢化の進展や、外国人人口が増加している
- ・地区別の人口は、主要駅周辺を中心に増加傾向にある一方、大森東部や羽田など一部地区で減少している

○都市構造・土地利用

- ・羽田空港の重要性が高まり、世界に開かれたにぎわいのある拠点として周辺他区市（東海道軸）と共にさらなる成長が期待される
- ・工場等の集積地域において住宅等への土地利用転換が進むほか、商業用地の利用比率が微減している

○交通

- ・交通ネットワークの整備が徐々に進む中、さらなる利便性の向上が求められる

○水と緑

- ・緑被率の減少傾向が見られる地域が存在する

○安全・安心

- ・既成市街地の多くは建物が密集しているため災害に対して脆弱であり、不燃化率の低い地域も多い
- ・崖地や過去の浸水履歴地など、震災や風水害等の被害が予想される地域がある

○住環境

- ・単身世帯数(特に高齢単身)や核家族世帯数が増加傾向にあるなど、ライフスタイルの多様化が進んでいる
- ・住宅ストックの量は既に充足しており、空家等が増加傾向にある
- ・公共施設の老朽化が進行しており、計画的な更新が必要となる

○産業

- ・「ものづくりのまち」であるが、非製造業への産業構造の転換が徐々に進む

○観光・文化・景観

- ・訪日外国人の増加などによる航空需要が増加、羽田空港国際線旅客数は増加傾向が大きい
- ・自然、歴史及び生活文化など、多様な観光・文化・景観資源が存在している

○環境

- ・大田区のCO₂排出量は、業務部門と家庭部門が占める割合が大きい一方、全体としては微減傾向にある

2-2 各種計画等から読み取るまちづくりの課題

今後、各所管へヒアリングを行った上で抽出していく

課題を踏まえて設定

3 大田区のまちづくりにおける重点項目

○「おおた都市づくりビジョン」*(H29)で追加・強化すべき視点として示す項目

*現行都市計画マスタープランの具体化に向けた考え

- (1) 東京の一翼を担う広域拠点の向上
- (2) 新空港線整備を契機とした沿線のまちづくりと地域の活性化
- (3) 地域経済のイノベーションと持続的な成長を牽引する産業と創造のまちづくり
- (4) 羽田空港の国際化と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催等の機会を捉えた世界とつながる観光都市づくり
- (5) 多様化するライフスタイルへの対応と生活を支える拠点の魅力向上
- (6) 巨大地震など未曾有の自然災害にも的確に対応する安全・安心なまちづくり
- (7) 低炭素社会の構築など快適で持続可能なみどりのまちづくり
- (8) 将来のまちづくりを見据えた効果的・効率的な公共施設マネジメント

○社会動向からみた重点項目

- (1) 平時から復興を意識した都市づくり
- (2) 歴史・文化・芸術を育む観光・国際都市づくり
- (3) リノベーションまちづくりなどによるエリア再生
- (4)

反映

現行大田区都市計画マスタープラン

◎都市の将来像（都市づくりの理念と5つの方向性）

都市づくりの理念：

多様な特性と地域力が結びつき活力と快適性を生み出し、世界に開くまち 大田

- ①連続性のあるまちづくり
- ②ものづくり産業と生活が共存するまちづくり
- ③安心とやさしさのあるまちづくり
- ④地域の特性を活かした景観づくり
- ⑤地域環境に配慮した都市づくり

反映

4 区民参画による意見収集

- ・アンケート調査
- ・出張座談会
- ・ポスターセッション
- ・デジタル意見箱
- ・ワールドカフェ
- ・オープンハウス など

開催地域や参加対象者、実施回数などは時期や目的に応じて選定していく